

韓国青年訪日団（第6団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的】「対日理解促進交流プログラム(JENESYS2023)」の一環として、在大韓民国日本国大使館にて選抜された高校生等を招へいし、講義聴講、学校訪問、テーマに沿った各種視察等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 韓国の高校生等 30 名
招へいプログラム 韓国の高校生等 30 名

【訪問地】 プレプログラム 東京都 30 名
招へいプログラム 東京都、鹿児島県、熊本県、福岡県 30 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）:

2月5日（月） オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム:

2月13日（火） 羽田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

【視察】 李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

2月14日（水） 【講義聴講】 外務省「新しい日韓関係」、鹿児島県へ移動

2月15日（木） 【表敬・講義聴講】 鹿児島県庁「国際交流員から見た鹿児島県の魅力」

【学校訪問・交流】 学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校

【視察】 かごしま環境未来館

2月16日（金） 【視察】 埋立処分場、大崎有機工場、そおりサイクルセンター

【講義聴講】 大崎町 SDGs 推進協議会の取り組みについて

2月17日（土） 【視察・講義聴講】 沈寿官窯、ホームステイ対面式

2月18日（日） 終日ホームステイ

2月19日（月） ホームステイ解散式、熊本県へ移動

【表敬・講義聴講】 熊本県庁「熊本県の魅力について」

【講義聴講】 熊本城被災映像鑑賞及び被災体験講話

【視察】 熊本城の最新の復旧状況及び地震対策紹介

2月20日（火） 【視察】 熊本地震震災ミュージアム KIOKU、2016 年熊本地震の震災遺構（旧東海大学阿蘇キャンパス、数鹿流崩之碑展望所）

【交流】 2016 年熊本地震被災地域の有志団体「すがるの里」メンバーとの意見交換会、福岡県へ移動、成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

2月21日（水） 福岡国際空港より出国

2. 記録写真

	
2024 年 2 月 13 日【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク	2024 年 2 月 14 日【講義聴講】外務省「新しい日韓関係」
	
2024 年 2 月 15 日【学校訪問・交流】学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校	2024 年 2 月 16 日【視察】大崎有機工場
	
2024 年 2 月 17 日【視察・講義聴講】沈寿官窯	2024 年 2 月 19 日ホームステイ解散式
	
2024 年 2 月 19 日【表敬・講義聴講】熊本県庁「熊本県の魅力について」	2024 年 2 月 20 日【視察】熊本地震震災ミュージアム KIOKU

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 高校生

大崎町での視察が最も印象的でした。大崎町ではごみをどのように分別し活用するのかを学ぶことができ、日頃から環境に関心が高い私にとっては有意義な時間でした。私たちは普段、環境問題を考える時、人間によってもたらされる自然等の被害までは考えると思います。しかし、ごみをどのように減らし、排出し、活用していくのかという点は、あまり関心をもたれていないとは思いません。今回の訪問は環境に対する考察を深めるきっかけとなり、また、より良い地球をつくっていく機会を与えられたように感じています。

◆ 韓国 高校生

日本の高校生との交流が一番良かったです。私たちは国家間の政治的問題や歴史的問題を学校、そして家庭で学びますが、だからといって互いに相手国の同世代と会う時に先入観を持ちません。それは私たち高校生がまだ若く、幼いからです。偏見を持つことなく、本当に人対人として認識し、楽しい思い出をつくることができました。

◆ 韓国 高校生

ホームステイを通じて、ホストファミリーと交流しながら日本人の親切心に触れ、深く感動しました。

◆ 韓国 引率教員

熊本県内の日程では、地震からの復興状況について具体的に聞くことができよかったです。視察先の説明や意見交換会を通じて、自分の故郷を愛する心が深く感じられて感動的でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 鹿児島県庁

鹿児島県は、韓国の全北特別自治道(旧全羅北道)と1989年から約30年にわたり、行政間や青少年交流、文化・スポーツ交流などを行っており、歴史的・文化的に韓国と強いつながりを持っています。本県は、多様で特色のある島々や奥深い歴史を感じさせる名所旧跡、良質で豊かな温泉など、魅力がたくさんあります。ホストファミリーや地元の人たちとの交流を通して、鹿児島県民の温かい人情に触れ、鹿児島の魅力を存分に感じていただき、ぜひ鹿児島のファンになっていただければ幸いです。ぜひまた鹿児島に遊びに来てください。

◆ 熊本県庁

熊本県の魅力(自然、「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」、くまモン等)について説明させていただき、訪日団の方々に熱心に聞いていただきました。また、くまモンも登場し、訪日団の皆様とふれあうとともに、県庁前のルフィ像も見学いただきました。今回の訪問により、熊本、ひいては日本をさらに好きになってもらえたなら幸いです。

◆ 学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校

鹿児島情報高校にお越しいただきありがとうございました。皆さんの来校を生徒も先生も心待ちにしていました。また、皆さんをお迎えするために、生徒は一生懸命に準備をしました。今回の交流で皆さんが日本のこと、鹿児島のこと、鹿児島情報高校のことを知ってくださり、この先も日韓の交流が深まる契機となることを期待しています。今回の訪問が皆様の心に残る時間であったことを願っています。

◆ 一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会

大崎町のリサイクルの取組みについて、皆さん熱心に話を聞いてくださいました。日常生活において、リサイクルについて考える機会はあまりなかったようですが、それは気が付いていないだけで、韓国でも様々な取組みをしているのだということを私たちも知りました。「これからは自国の取り組みについても深く学びたい」と感想を伝えてくださる方もおり、私たちにも大変良い機会になりました。ありがとうございました。

◆ 鹿児島市グリーンツーリズム推進協会

私どもでは今回初めて韓国の学生を受け入れたので、事前にスマートフォンの翻訳アプリの使い方について勉強会を開催する等、準備を進めました。「どのような子どもたちが来るのだろうか」と少々の不安を抱きながら当日を迎えましたが、実際は皆さんとても日本語が上手で、会話の心配等、全くの杞憂に終わりました。受入れ前は「外国人は難しいのでは」と二の足を踏んでいたメンバーたちが、終わってみれば、「来年もまた来てほしい」、「2泊3日では全然足りなかった」と話しており、すっかり訪日団一行のファンになったようです。様々な難しい問題を抱えている両国ですが、今回訪日された学生さんたちには、少しでも相互理解の役割を担っていただけたらと期待しています。ありがとうございました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 이후 カゴシマ 情報 高等学校に 방문하여 점심을 먹고, 학교를 투어하며 수업에 참여하는 등 다양한 활동을 일본인 친구와 함께 진행할 수 있었다. 이 과정에서 일본인 친구들은 상대에 대한 배려가 깊고, 타인을 이해하려고 많이 노력한다는 사실을 발견할 수 있었다. 더하여 좋은 친구들을 많이 사귄 수 있었던 것 같아 의미 있는 활동이 되었다.	 카고시마 정보 고등학교와 교류 후 환경 미래관에 방문하여 SDG에 대해 더 깊게 이해할 수 있는 시간을 가지게 되었다. 그중 가장 놀라웠던 사실이 인간으로 인해 동물을 비롯한 자연 생태계가 파괴되고 있다는 것이었으며, 미래에 지구의 CO2 농도가 심각하게 높아질 것이라는 사실이었다. 이후 "나 하나만 이라도 노력하는 것은 중요하지만 국제적인 문제는 모두가 다 함께 노력해야하는 것" 이라는 생각이 들게 되었다.
2024 年 2 月 15 日 (Instagram) 鹿児島情報高校を訪問し、授業や学食等、日本の高校生と共に様々な体験をしました。日本の高校生は相手に対して思いやり深く、他者を理解しようと努力することに気づきました。良い友人たちと交	2024 年 2 月 15 日 (Instagram) かごしま環境未来館を訪問して驚いたことは、人間の活動によって生態系が破壊されつつあり、また、地球の二酸化炭素濃度が深刻化してきているということでした。「私一人でも努力していくことが重要

流することができ、意義深い活動を行った時間でした。	だが、地球的規模の問題は皆が協力して努力しなければ」と思いました。
今日の日程はSDGを 주제로 한 우리 여행의 하이라이트 재활용품 처리장 방문이었다. 처음에는 “음? 재활용품장에 간다고?” 라는 의문이 들었지만, 방문을 하고 강의를 들은 후에 더 많은 사람들이 이곳을 찾아오면 좋겠다고 생각하였다. 또한 이곳은 음식물 쓰레기를 모아 비료로 만들어 저렴한 값에 판매를 하고 있어 자원을 활용하여 생태계를 보존할 수 있다는 사실이 신기했다.	사진의 장소는 2014년 4월 쿠마모토현에서 일어났던 2번의 진도 7의 지진으로 인해 끊어진 아소지방의 아소대교입니다. 그로 인해 한 명의 사상자가 발생했다고 하니 정말 안타까운 일이 아닐 수가 없습니다. 한국도 지진에서 벗어날 수 없는데니 하루라도 빨리 지진에 대한 대책을 세워야한다고 생각합니다.
2024 年 2 月 16 日 (Instagram) リサイクル関連の施設を視察すると聞いた時、最初は「なぜ視察するのか」と疑問に感じましたが、視察や講義聴講を終えた後は、「多くの人に大崎町を訪問してほしい」と感じました。ここでは生ごみを集めて肥料にし、低価格で販売することで資源を活用して生態系を守ろうとしており、驚きました。	2024 年 2 月 20 日 (Instagram) 写真の場所は、2016 年 4 月に熊本県で起きた震度 7 を超える 2 度の地震によって崩壊した阿蘇大橋です。この場所では 1 名の方が犠牲になったと聞き、本当に気の毒でやるせない気持ちになりました。韓国も地震が発生する可能性があるなので、一日も早く地震への対策を立てなければならぬと思いました。
日本での留学・就職を目指す韓国の高校生が鹿児島の高校生と交流 かつ井「おいしい!」 鹿児島 2024.02.15 18:49 海外の若者に日本への理解を深めてもらう外務省のプログラムで、韓国の高校生が県内を訪れています。15日は鹿児島市の高校を訪れ、交流を深めながら日本の文化を学びました。 鹿児島市の鹿児島情報高校を訪れたのは韓国青年訪日団28人です。訪日団は日本での留学や就職などを目指す韓国の高校生で、日韓の相互理解や	昭和30年創刊 南九州新聞 地域の身近な話題伝えます! https://webhoosumi.com 2024年02月19日 20時28分 【エコ】 韓国高校生が、対日理解促進交流で大崎町でSDGs学ぶ 外務省が推進する「JENESYS」、対日理解促進交流プログラムの一環として実施されている「日本各地のSDGsの取組～鹿児島県・熊本県の事例～」が、令和6年2月16日大崎町でも開催され、韓国高校生28人が同町のリサイクル、SDGsについてを視察し学んだ。
2024 年 2 月 15 日 (鹿児島読売テレビ) 「日本での留学・就職を目指す韓国の高校生が鹿児島の高校生と交流」鹿児島情報高校への訪問及び同校生徒との交流について触れ、授業体験や活発な交流等を通じて、日本や日本文化に対する理解を深めた旨紹介されました。	2024 年 2 月 19 日 (南九州新聞) 「韓国高校生が、対日理解促進交流で大崎町でSDGs学ぶ」埋立処分場や有機工場等の視察、関連講義の聴講を通じて、同地はすべてリユースやリサイクルされて循環する「サーキュラービレッジ」であることを学んだ旨紹介されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

(訪問地：東京都、鹿児島県、熊本県、福岡県)

【訪日中の学び】 ・日本で出会った方々はみな親切でした。 ・日本で食べる和食はおいしいと感じました。 【テーマに関する訪日中の発表】 ・大崎町での視察を通じて、生ごみと木くずで作った肥料を使って農作物を栽培し、そこから出た生ごみを再利用するというサーキュラーエコノミー（循環経済）について学びました。 ・大崎町のリサイクル率は日本一で、その方法が全国で適用されるようになれば、環境に大きな恵みをもたらします。韓国でも大崎町のような環境保護の対策等が必要だと感じました。 ・大崎町のごみは20種類以上に分別されており、韓国の8種類と比較すると、大変細かく分類されていることを知りました。これを続けている大崎町民に対し、尊敬の念を抱きました。 【アクション・プラン】 ・帰国後1か月間、観光や地域紹介等、日本関連の情報を発信して広報します。 ・日本語能力試験1級に挑戦します。	【訪日中の学び】 ・日本では地震等の自然災害によって、それまで築き上げてきたものを一瞬にして失ってしまうことがあります。それを克服しようと努力する姿は、私たち韓国人も見習うことができればと思います。 ・各所での視察や交流を通じて、日本文化と韓国文化は似ているようで異なるということを感じました。 【テーマに関する訪日中の発表】 大崎町での視察を通じて、ごみの活用方法について考えを深めることができました。 【アクション・プラン】 ・日本の教育制度や環境に関する政策について調査し、さらに考えを深めていきます。 ・日本文化への理解をさらに深めます。 ・日本留学試験（EJU）で満点を取って、日本の大学に進学します。 ・日本人とスムーズに会話できるように、日本語の実力を伸ばします。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金